整形外科

主任部長　西井　幸信

医局体制

2022 年度は 4 月から統括衣笠部長が定年退職され、新体制となりました。西井および三宮将典部長に加えて、徳島大学で 1 年間、脊椎の内視鏡下手術治療の研修を受けて戻ってきた井ノ口崇医師が 2023 年からは部長となりました。当院の初期研修医から整形外科医となり、岡山大学院生となった後、膝関節鏡視下手術のエキスパートとして戻ってきた卒後 18 年目の田中孝明科長。同様に当院研修医から整形外科となり、札幌徳洲会病院でマイクロサージャリーの研修を終えて帰って来た小田和孝科長を中心に、外傷に加えてより専門的な整形外科治療を行う体制になっています。岡山大学から着任した岡﨑良紀医師、当院初期研修からの当院の整形外科専攻医プログラムで後期研修を行い、整形外科専門医となった横田真二郎医師、同じく専攻医の西田一平医師、日本医科大学付属病院高度救命救急センターから来た専攻医 3 年目大元文香医師、岡山大学からの専攻医である篠原康太医師、さらにはオルソリハビリテーション病院の院長鄭明守先生・診療部長西田一也先生がしっかりと連携・指導してくれておりますので、整形外科グループとしては 11 名（専門医 7 名）の体制で診療を開始いたしました。転出者は岡山大学から着任していた保利忠宏先生、山梨県立中央病院救命救急センターから整形外科後期研修のためにやってきた原田薫先生が異動となりました。

2011 年 11 月に完成した外来センターでの完全予約制の専門外来は、12 年目に入り安定して機能しています。また外来センター8 階北側の整形外科医局はカンファレンスルームも含め、極めて機能的で日常業務・教育ともに大いに役立っています。そして入院診療は本年度も 7A・北館病棟を主たる病棟として運用しました。昨年までは多いときは 100 人以上の入院患者をかかえていましたが、COVID 19 の蔓延から 3 年を過ぎたものの、2019 年までと比較すると患者は減り、昨年度と同様に落ち着かない辛い 1 年となった印象です。

診療

手術件数は 1912 件【表 1】と前年度と比較して医師の減少、COVID 19 クラスターの影響で大幅に減少しました。手術室は 3・4・5・11 番ルームが当科の専用となっていますが、その他のルームも運用の都合に合わせて使用しています。当然 4 列以上同時手術も可能となっています。

手術の内容に関する特徴としては高齢者の手術が外傷・慢性疾患ともに増加し、多発外傷も高齢者に多く発生する傾向が見られ、従来の高エネルギー外傷とは異なるパターンがますます顕著になってきました。慢性疾患では膝・股関節とも少しずつ増加していた人工関節手術（THA,TKA,UKA,TSA など）が 159 例に減少、下腿近位や遠位の骨切り術（TCVO,DTOO など）は少し増加して変形治癒矯正骨切りも含めて 61 例行いました。こちらは今後もさらに増加していくことと思います。また両膝罹患例が多いことから両膝同時手術も UKA,TCVO を中心にかなり増えてきています。脊椎手術は 2022 年 4 月に徳島大学で研修した井ノ口部長が戻ってきて 76 例に増加しており、今後の増加に期待しております。しかし本来得意とする重症・多発外傷手術がまださほど増加していないという実情は誠に残念なことですので、救命救急センターの定着により骨盤骨折や多発外傷・四肢開放骨折の症例数が増加することを大いに期待しております。

研究会・学会などの活動

また近年当科では外傷ばかりでなく、足の外科・イリザロフ創外固定・イリザロフ法について理解度を深め、診療レベルを向上させたいとの考えから様々な活動を行ってまいりました。その甲斐もあり、中国四国地域では唯一の日本足の外科学会「足の外科専門医マッチング制度」

の教育研修施設の認定を受けています。しかし 2020 年 3 月以後はやはり COVID 19 pandemic！に翻弄され、すべての活動を休止せざるを得ませんでした。2022 年度延期したすべての研究会にご参加いただく予定であった先生方に深謝するとともに今後活動再開が可能になれば、また活発に展開していきたいと思っております。

学会発表は 28 題、論文 11 編、学術講演 22 題を行いましたが、例年と比べてアクティヴィティの落ちた昨年度よりも少し増加していました。それでも講演、国際学会での発表も出張予定はいくつかありましたが、その内いくつかは取り止めました。こちらも今後また再出発できるときが早く訪れることを祈るばかりです。

2022年（令和4年1月1日～令和4年12月31日）の各種手術件数			（件）
総手術件数		合計	1,912
外傷	骨折手術	上肢	378
		下肢	413
		骨盤	12
	偽関節手術		16
	その他		163
関節	鏡視下ACL再建		19
	鏡視下半月板手術		28
	鏡視下肩手術		21
	鏡視下手術その他		13
	骨盤骨切り		0
	下肢骨切り		61
	人工関節	THA	46
		TKA	69
		UKA	33
		その他（肩・肘・手関節・指）	11
	その他		23
脊椎・脊髄	頚椎		6
	胸椎		8
	腰椎		62
	脊椎・脊髄腫瘍		0
	その他		0
小児	先天股脱	骨盤骨切り	0
		観血的整復術	0
		その他	0
	斜頚		0
	内反足		0
	ペルテス病		0
	大腿骨頭すべり症		0
	骨延長・矯正など		0
	その他		0
腫瘍	生検		0
	骨腫瘍	良性	0
		悪性	0
	軟部腫瘍	良性	7
		悪性	0
手	絞扼性神経障害		28
	ばね指		27
	腱		7
	先天奇形		0
	その他		8
足関節・足	足関節固定（鏡視下含む）		0
	外反母趾		3
	足趾形成術		0
	その他		4
切断	上肢		0
	下肢		0
感染	切開排膿		1
	掻爬＋α		28
抜釘・その他			417

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
両側同時に行う単顆型人工膝関節置換の有用性の検討	岡﨑 良紀 衣笠 清人、西井 幸信、三宮 将典、田中 孝明	第 52 回日本人工関節学会	2 月 25 日-26 日 WEB
Iizarov 創外固定を用いたDTOOの関節温存手術としての可能性について	西井 幸信	第 35 回日本四肢再建・創外固定学会学術集会	3 月 11 日-12 日 奈良
The treayment with distal tibial oblique osteotomy(DTOO)for osteoarthritis of the ankle-indication and surgical procedue-	西井 幸信	第 16 回日仏整形外科合同会議	4 月 4 日-6 日 奈良
変形性膝関節症に対するTCVOの中期治療成績	西井 幸信	JOSKAS-JOSSM2022	6 月 16 日-18 日 札幌
健常人に生じた両側同時膝蓋腱断裂の 1 例	三宮 将典	JOSKAS-JOSSM2022	6 月 16 日-18 日 札幌
脛骨高原骨折に合併した ACL 付着部剥離骨折に対して関節鏡視下pull-out 法を併用した 1 例	田中 孝明 西井 幸信、三宮 将典、岡﨑 良紀	JOSKAS-JOSSM2022	6 月 16 日-18 日 札幌
Clinical benefits of simultaneous bilateral unicompartmental knee arthroplasty using Persona Partial Knee	岡﨑 良紀	JOSKAS-JOSSM2022	6 月 16 日-18 日 札幌
足関節外反不安定性に注目した足関節内果疲労骨折の手術治療	西井 幸信 三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝、岡﨑 良紀、横田 真二郎、西田 一平、寺本 司	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
足関節果部骨折における後果骨折の整復と内固定の適応	西井 幸信 三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝、岡﨑 良紀、横田 真二郎、西田 一平	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
小児上腕骨顆上骨折に対する創外固定を用いた治療法の安全性と治療戦略	西井 幸信 三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝、岡﨑 良紀、横田 真二郎、西田 一平	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
ASULOCK を用いた大腿骨転子部骨折の治療成績	井ノ口 崇	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
橈骨遠位端骨折 AO 分類 Ctype に対する DVR を用いた治療成績	小田 和孝 西井 幸信、三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、岡﨑 良紀、横田 真二郎、西田 一平、篠原 康太	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
安定型大腿骨頚部骨折術後 LSC 症例の検討	横田 真二郎	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
大腿骨転子間骨折（AO 分類 31A3）に対する ASULOCK Middle Nail と JPFNA LongNail の治療成績の比較検討	西田 一平 西井 幸信、三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝、岡﨑 良紀	第 48 回日本骨折治療学会	6 月 24 日-25 日 横浜
変形性足関節症に対する逆行性髄内釘による足関節固定術後に荷重時痛が残存している 1 例	西井 幸信 寺本 司、原田 将太、高木 基行、浅原 智彦、大塚 和孝、田代 宏一郎、高木 謙司郎、牧野 佳朗、西野 雄一朗	第 8 回九州足の外科研究会	7 月 2 日 福岡

創外固定を抜去するまでに約２年間を要した下腿開放骨折・floating knee の１例	西井 幸信 三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝、岡﨑 良紀、横田 真二郎、茂木 悠平、篠原 康太、大元 文香、西田 一平	第 27 回日本運動器再建・イリザロフ法研究会(JORIM)	8 月 28 日 金沢
人工膝関節時間術後感染に対する Attune revision knee system の使用経験	田中 孝明 西井 幸信、三宮 将典	関節病学会 2022	10 月 21 日 -10 月 22 日 新潟
腰痛治療に対する内視鏡治療の応用	井ノ口 崇	第 30 回日本腰痛学会	10 月 21 日 -10 月 22 日 岩手
TF-FESS を行う際、上位の椎間ほど臓器に干渉するリスクが高くなる	井ノ口 崇	第 139 回中部日本整形外科災害外科	10 月 28 日 -10 月 29 日 大阪
脛骨近位端骨折に対する脛骨顆外反骨切り術を応用した骨接合術の小経験	岡﨑 良紀	第 139 回中部日本整形外科災害外科	10 月 28 日 -10 月 29 日 大阪
臨床現場における下肢創傷処置料・管理料導入の意義	西井 幸信	第 47 回日本足の外科学会学術集会	11 月 3 日 -11 月 4 日 松山
4 期の変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切術(DTOO)の治療成績	西井 幸信	第 47 回日本足の外科学会学術集会	11 月 3 日 -11 月 4 日 松山
腓骨遠位斜め骨切術(DFOO)による外反不安定性のある足関節障害に対する治療	西井 幸信	第 47 回日本足の外科学会学術集会	11 月 3 日 -11 月 4 日 松山
踵骨骨折変形治癒後の下腿三頭筋不全に対する踵骨骨切り術の治療成績	西井 幸信	第 47 回日本足の外科学会学術集会	11 月 3 日 -11 月 4 日 松山
High intensity zone の研究	井ノ口 崇	第 25 回 JASMISS(日本低侵襲脊椎外科学会学術集会)	11 月 17 日 -11 月 18 日 京都
徳島大学での国内留学報告	井ノ口 崇	第 25 回 JASMISS(日本低侵襲脊椎外科学会学術集会)	11 月 17 日 -11 月 18 日 京都
肘関節脱臼骨折に対してヒンジ付創外固定を使用した２例	横田 真二郎 西井 幸信、三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝	第 55 回中国・四国整形外科学会	11 月 19 日 -11 月 20 日 倉敷
上腕骨近位端骨折に対し、Proximal Humerus Interlocked System(PHIOS)を用いた治療	西田 一平 西井 幸信、三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明、小田 和孝、岡﨑 良紀	第 55 回中国・四国整形外科学会	11 月 19 日 -11 月 20 日 倉敷

講演

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
kesagake approach による Pilon 骨折治療	衣笠 清人	第 5 回 Fracture Forum for the Future FFF	1 月 22 日 WEB
大腿骨頚部骨折における骨頭後屈の定量的評価	保利 忠宏	第 113 回高知整形外科集談会	2 月 12 日 高知
小児 Monteggia 骨折の治療経験	西田 一平	第 113 回高知整形外科集談会	2 月 12 日 高知
足関節果部骨折の治療戦略および機能回復に向けた整復のコンセプト	西井 幸信	第 86 回北海道外傷整形外科 WEB 研究会	6 月 11 日 WEB
外傷関連疾患～神経障害性疼痛治療の現状と課題	西井 幸信	Ｊ‐Net Wave	6 月 29 日 WEB
全内視鏡下脊椎手術の導入	井ノ口 崇	第 114 回高知整形外科集談会	7 月 2 日 高知
上腕骨近位端骨折に対し、PHIOS を用いた治療経験	西田 一平	第 114 回高知整形外科集談会	7 月 2 日 高知
非感染性術後偽関節に対し施行した chipping 手技の有用性の検討	篠原 康太	第 114 回高知整形外科集談会	7 月 2 日 高知
当院での FLS(脆弱性骨折リエゾンサービス)への取り組み	三宮 将典	高知骨折治療研究会 (Fracture　Seminar)	7 月 15 日 高知
骨頭骨折を伴った上腕骨骨幹部骨折の 1 例	岡﨑 良紀	高知骨折治療研究会 (Fracture　Seminar)	7 月 15 日 高知
脛骨近位端骨折・外傷後膝関節症に対する手術治療	西井 幸信	第 6 回裏磐梯外傷イリザロフ法セミナー	7 月 22 日 -24 日 福島
変形性足関節症に対する逆行性髄内釘による足関節固定術後に荷重時痛が残存している 1 例	西井 幸信	第 8 回四国足の外科研究会	8 月 20 日 高知
高齢者の踵骨裂離骨折に対してアキレス腱延長術を施行した 4 症例	大元 文香	第 8 回四国足の外科研究会	8 月 20 日 高知
足関節骨折における腓骨の重要性	西井 幸信	第 86 回 JABO 研修会「足関節」	8 月 21 日 東京
足部・足関節の機能再建術～神経障害性疼痛も含めて～	西井 幸信	整形外科 up-to-date Meeting～	9 月 6 日 WEB
両側大腿骨感染性偽関節に対して Masquelet 法を用いた 1 例	横田 真二郎	第 21 回高知骨折治療研究会	9 月 10 日 高知
足関節周囲骨折に対するリング型創外固定の有用性	西井 幸信	VHJ 研究会共同購入 WG 整形部会セミナー　足関節周囲骨折の骨折治療戦略	9 月 12 日 高知
変形性膝関節症と TKA・UKA	岡﨑 良紀	院内勉強会	10 月 12 日 高知
当院における変形性膝関節症の治療方針	三宮 将典	整形外科 up-to-date Meeting～season2～	11 月 8 日 高知
腰椎椎間孔外ヘルニアに対し全内視鏡下脊椎ヘルニア摘出術を行った 1 例	井ノ口 崇	第 115 回高知整形外科集談会	12 月 10 日 高知
肘関節脱臼骨折に対してヒンジ付創外固定を使用した 2 例	横田 真二郎	第 115 回高知整形外科集談会	12 月 10 日 高知
外傷関連疾患に対するこれまでの治療とこれからの治療～神経障害性疼痛治療も含めて～	西井 幸信	Orthopedics web seminar for resident	12 月 13 日 WEB

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Transforaminal Full-endoscopic Discectomy for Gas-containing Heaniated Nucleus Pulposus at L5-S1 Under Local Anesthesia:A Case Report	Inokuchi T,Sairyo K et al.	The Journal of Medical Investigation	Vol.69 No.3,4 Page.328-331
両側同時に行う単顆型人工膝関節置換術の有用性	岡崎 良紀 衣笠 清人、三宮 将典、西井 幸信、田中 孝明	日本人工関節学会誌	vol.52 2022 Page.359-360
【回復期リハ病棟の疾患と症状まるわかり BOOK】(2 章)大腿骨近位部骨折、変形性股関節症、脊椎圧迫骨折の基礎知識と要注意ポイント　疾患理解に必要な運動器の解剖生理	三宮 将典	リハビリナース	2022 秋季増刊 Page.(1882-3335) 112-117
【回復期リハ病棟の疾患と症状まるわかり BOOK】(2 章)大腿骨近位部骨折、変形性股関節症、脊椎圧迫骨折の基礎知識と要注意ポイント　大腿骨近位部骨折、変形性股関節症、脊椎圧迫骨折の疫学・病態生理と治療	三宮 将典	リハビリナース	2022 秋季増刊 Page.(1882-3335) 118-124
腓骨外果部の形態と足関節骨性不安定性の検討	西井 幸信 寺本 司、原田 将太、高木 基行、衣笠 清人、大塚 和孝、浅原 智彦	日本足の外科学会雑誌	vol.43 No.1 Page.(0916-7927) 164-167
上腕骨近位端骨折に対する AFFIXUS Natural Nail の治療成績	原田 薫 田中 孝明、衣笠 清人、西田 一也、西井 幸信、三宮 将典	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	vol.65 No.1 Page.(0008-9443) 45-46
安定型大腿骨頸部骨折に対する整復の有用性	横田 真二郎 衣笠 清人、西井 幸信、三宮 将典、井ノ口 崇、田中 孝明	骨折	vol.44 No.1 Page.(0287-2285) 57-60
【知っておきたい足関節周囲骨折の新展開】ピロン骨折における腓骨骨折の治療	西井 幸信	臨床整形外科	vol.57 No.1 Page.(0557-0433) 51-58
足関節果部骨折における後果骨折の整復と内固定の適応	西井 幸信 西田 一也、三宮 将典、田中 孝明、小田 和孝、岡崎良紀、保利 忠宏、原田 薫、横田 真二郎、西田 一平	骨折	vol.44 suppl Page.S57-57
上腕骨近位部骨折に対するプレート固定術	衣笠 清人	新 OS　NEXUS　No2 肩外傷の治療とリバース型人工肩関節置換術	Page.28-38
Transforaminal 全内視鏡手術 TF-FED 法 FEATURE 最新 腰椎椎間板ヘルニアの治療 Beyond the current standard［低侵襲手術療法］	井ノ口 崇	整形外科サージカルテクニック	Page.56-62